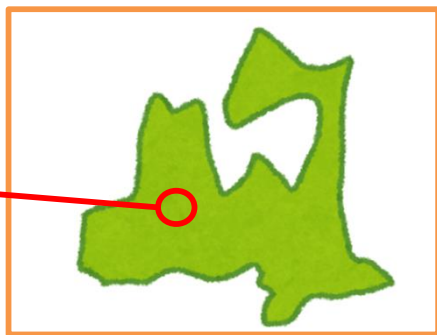


産地生産基盤パワーアップ事業の取組事例(28年度:計画作成主体:鶴田町果樹産地協議会)(青森県)

取組の概要

対象品目 : 果樹(りんご)(産地面積11ha)
 主な取組主体 : 西中野共同防除組合
 成果目標 : 販売金額の10%以上の増加
 基準(H27年度) 467千円/10a
 目標(H30年度) 513千円/10a
 導入施設等 : 生産支援事業(機械リース
 (スピードスプレーヤー 1台))

青森県
鶴田町
西中野地区



ポイント

【産地の課題及び取組方向】

鶴田町はりんごを基幹とした産地であるが、高齢化の急速な進行や補助労働力の不足、薬剤効果の低下による黒星病等の病害虫の発生による果実品質及び収量の低下、栽培面積の減少、栽培管理の行き届かない園地の発生が課題となっている。

このことから、高性能機械を導入して効率よく効果の高い病害虫防除作業を行うことにより、経営規模の拡大と高品質果実の安定生産を実現し、販売金額の増加を目指す。



【産地の体質強化に向けた方策】

- ①高性能の防除機械(スピードスプレーヤー)のリース導入支援
- ②効率的で効果の高い病害虫防除の実施による高品質果実の生産拡大

産地体制

・西北地域県民局地域農林水産部(県)
 ・鶴田町
 ・JAつがるにしきた

指導・助言

・協議会と取組主体との情報共有(取組状況等)
 ・行政機関(県・町)及び農協等によるサポート体制

鶴田町果樹産地協議会
 ①計画の策定・管理
 ②取組計画への助言

情報共有

取組主体
 ①取組計画の策定
 ②取組実施等

地域における独自の取組

〈主な取組〉

・園地の若返りや消費者ニーズに高い品種への更新支援

取組成果

【事業実施による直接効果】

- ①リース導入による設備投資の節減
- ②組合員の経営面積の拡大
- ③きめ細やかな防除による高品質果実の生産
- ④高品質りんごの安定生産の実現による販売金額の増加

【事業実施による間接効果】

- ①防除作業の省力化による栽培管理の徹底に伴う秀品率の向上



**販売金額が
12%増加
(達成率122%)**

目標値
 513,940円/10a
 467,218円/10a

